

696億円の黒字を確保！

会社は社員の努力に応えよ！

ボーナス第2回団体交渉開催！

本部は11月4日、「2009年度年末手当に関する申入れ」に基づき、第2回団体交渉を行いました。

団体交渉では本部から、平成21年度第2四半期（中間）決算で明らかになったように、連結ベースで営業収益は前年同期比△423億円、5.5%減になったものの、純利益は696億円を確保しており「支払い能力は十分ある」ことを強く主張しました。併せて「景気の低迷や新型インフルエンザによる収入の落ち込みは、社員がもたらしたのではなく、逆に厳しい環境下における社員の日常普段の努力が黒字を確保した」として、3.2ヶ月の満額支給を強く要求しました。

会社は、「社員の努力の結果であると認識している」「現時点3.2ヶ月の支払いは可能だ」としつつも、「収益が判断のベースだとし、減益減収により2.9ヶ月を下回る可能性は否定できない」との考えを明らかにしました。

しかし、会社はこの間「期末手当は収入によって上下することはよくない」「夏2.7ヶ月、冬2.9ヶ月が軸である」と主張しており、この矛盾点についても追及しつつ、「現時点で3.2ヶ月の支払いは可能と言うならば満額を支払え」と強く要求してきました。

回答は、11月6日（金）10時30分です。

**満額獲得に向け
職場の声を結集しよう！**